

# 通常の学級における特別支援教育

分かりやすい授業づくり  
居心地のよい学級づくり



平成23年3月  
広島県教育委員会

# 適切な支援をするための5つのポイント

## 正しい理解

児童生徒を正しく理解するための実態把握の方法には、発達検査の実施、チェックリストの活用、保護者や関係者からの聞き取り等があります。いずれの方法でも、授業中等の様子の観察と関連付けながら分析することが重要です。特別支援学校や発達障害者支援センター等の関係機関の助言を活用しましょう。

## 指導の工夫

特別な支援を必要とする児童生徒への指導の工夫は、他の児童生徒にも効果的な支援となります。個別の指導計画を作成・活用し、「あの児童（生徒）に、こういう指導を行えば、このような効果があるだろう」という仮説を立て、指導、評価することが大切です。また、学習規律のある受容的な学級集団づくりを進めましょう。

## 校内体制の整備 …特別支援教育コーディネーターの役割

特別支援教育コーディネーターの役割には、校内委員会・校内研修の企画・運営、関係機関との連絡・調整、保護者からの相談窓口等があります。校長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターの役割を果たせるようにしましょう。

## 家庭との連携

家庭と連携するには、長期目標を記した個別の教育支援計画や授業の目標・手立てを記した個別の指導計画を作成・活用しましょう。また、保護者が作成・提示する「サポートファイル」を活用して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成しましょう。

## 学校間の連携による一貫した支援

幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等が指導方針や指導方法等の情報を確実に引き継ぐことによって、入学直後から適切な支援を円滑に実施することが可能になります。個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用しましょう。

### 発達障害授業改善推進事業（平成21年度・22年度実施）

広島県特別支援教育ビジョン（平成20年7月策定）では、特別支援教育の理念の実現のための取組として、授業研究等を通して、通常の学級の教員の指導方法の改善に取り組み、発達障害のある児童生徒に対する指導の充実を図ることを示しています。また、特別支援教育が広く保護者や県民、企業に理解されるよう、広報活動等、普及啓発を推進することを示しています。

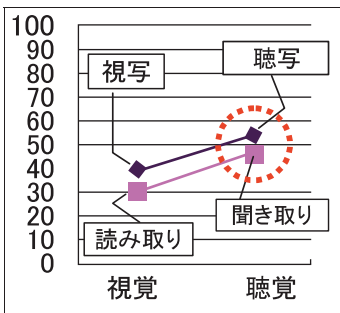
本事業はこのビジョンに基づき、発達障害を念頭においた小学校・中学校の通常の学級における授業改善の推進を図ると共に、特別支援教育について広く保護者や県民の理解を促進するものです。

<研究指定校>

福山市立御幸小学校、福山市立一ツ橋中学校、三次市立十日市小学校、三次市立吉舎中学校、北広島町立豊平西小学校

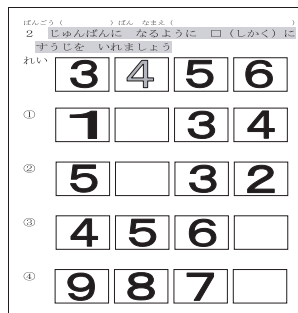
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/07challenge/kaizensuishin/kaizensuishin.htm>

# 正しい理解



## ②読み書きテスト

「視写・聴写のテスト」「読み取り・聞き取りのテスト」を行いました。この児童は、視写よりも聴写、読み取りよりも聞き取りの結果が上回りました。見て理解する力よりも聞いて理解する力が優位であることが分かり、授業中の読んで理解する場面では、個別に話しかけて、聞く力を生かすようにしました。



## ③数概念テスト

空いているマスに数を記入し、昇順、降順に順序よく数を唱えることができるかどうかを調べます。たし算やひき算のつまずきが明らかになり、計算力を高める指導方法のヒントになります。

## チェックリスト等の活用…小学校

複数の方法で実態把握をしています。

- ① チェックリスト…学習面や行動面のつまずきの傾向を把握する
- ② 読み書きテスト…見て理解することと聞いて理解することのどちらが得意かを把握する
- ③ 数概念テスト…就学前後に習得する数や量の理解度を把握する

これらは簡易で、すぐに指導に生かすことができます。

- ※参考…①「特別支援教育ハンドブックNo.2」広島県教育委員会、平成20年3月  
 ②「森田一愛媛式読み書き検査」愛媛LD学会  
 ③「数の概念理解チェックテスト」鈴木孝一

(豊平西小学校)

## 個別の指導計画…小学校

観察、チェックシート、発達検査の結果等から児童の実態を把握し、校内委員会で検討した後、個別の指導計画を作成します。個別の指導計画には、短期の指導目標、指導内容・手立てを記入します。定期的に評価をし、成果と課題を記入します。短期間で達成できるような具体的な目標を設定することが、ポイントです。

	指導目標（短期目標）	指導内容・手立て	成果と課題
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1時間の授業の中で自分の目標に向かって、学習することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい段階による目標を設定しほめる。</li> <li>・事前に学習することで、安心して授業に取り組めるようにする。</li> <li>・課題に取り組む時間の設定をし、できたら休憩をさせる。</li> <li>・よい行動をしっかりとほめる。</li> <li>・学習の手順を分かりやすく示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月当初は離席が多かったが、「こうすることがよい」と行動を指導したことにより、着席するようになった。</li> <li>・ 一桁の計算は指を折りながら行うことができ、筆算のたし算ができるようになった。「先生、プリントをしてもいい？」とやる気を示すこともある。</li> </ul>

(御幸小学校)



## 授業研究会でのきめ細かな観察…中学校

研究授業を活用して、個々の生徒の実態をきめ細かに観察し、指導に生かすようにしました。参観した教職員が、「指導者の指示に対して生徒はすぐに活動したか」「どのように活動したか」「生徒同士はどのように意見交流したか」等、学習の理解度やコミュニケーションの様子を観察し、研究協議でそれを伝え合うことによって、生徒の実態に関する正しい理解を図ることができました。

観察したことを記録し、研究協議で伝え合う

(吉舎中学校)

# 指導の工夫

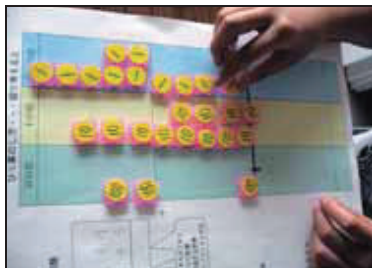
## 教具・ワークシート…小学校

具体物や操作活動のできる教具を使って量感をつかませたり，児童の実態に応じた個別のワークシートを使って確実な理解を促したりしています。

(御幸小学校)



10の補数を理解させる教具



操作活動で計算の仕方を理解

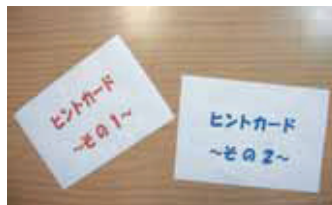


ワークシートを使って考える

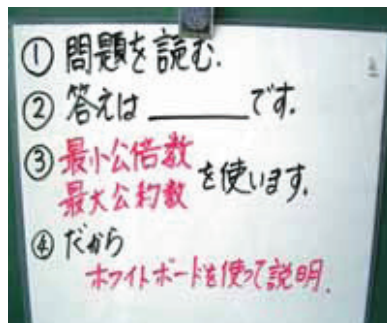
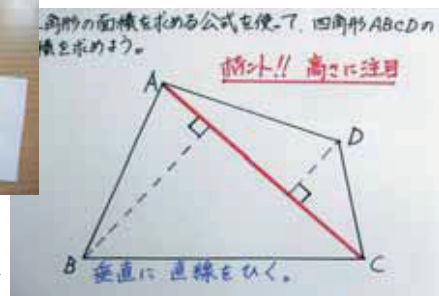
## ヒントカード…小学校

児童のつまづきを予想し，ヒントカードを作成しています。考える手順，既習事項のポイントなど，個々の児童に応じたヒントによって，児童の自力解決を促し，「自分で解けた！」という達成感がもてるようにしています。

(豊平西小学校)



裏返すと



説明の仕方のモデルを参考にしながら説明する児童



## 説明の仕方のモデル…小学校

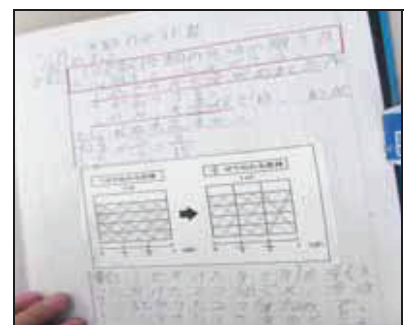
発表に自信をもてない児童がいます。そこで分かりやすい説明の仕方のモデルの提示をしました。モデルを手がかりに分かりやすい説明ができたという経験を重ねたことで，進んで発表するようになってきています。聞いている児童も，解き方の根拠が分かり理解が深まっています。

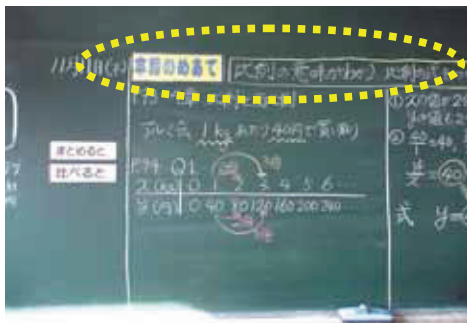
(十日市小学校)

## ノート指導…小学校

「書く時間を一斉にとる」「毎時間，新しいページから書き始める」「日付はこの位置に」「めあては赤色，振り返りは青色で囲む」など，ノートの書き方を示したことで，書くことが苦手な児童も整ったノートを書くことができるようになってきました。また，この書き方を全校で統一したことで，児童は進級しても見通しをもってノートを書くことができます。さらに，授業の流れがノートから分かり，児童が学習を振り返りやすいように，構造的な板書になるよう努めています。

(御幸小学校)





### 本時のめあて…中学校

どの教科の授業でも、授業開始時に本時のめあてと手立てを生徒に分かりやすい言葉で板書し、黄色のチョークで囲んでいます。生徒は、めあてをノートに書き写すことで「これから学習が始まる、さあ、頑張ろう」と、気持ちを切り替えることができます。また、授業で何をやるのかがはっきり分かるので、見通しをもつことができます。

(一ツ橋中学校)


### 授業の規範づくり…小学校

教室内に「姿勢」のルールを掲示し、いつでもよい姿勢を意識できるようにしています。また、「話し方」を掲示することで、人前で説明をするのが苦手な児童が順序立てて分かりやすく話せるようになりました。

よいしせい

**めさせ！説明名人**

- ・聞いてください。
- ・わたしは〜で考えました。
- ・ **はじめに** ~
- ここまでいいですか。
- ・ **次に** ~
- ・ **最後に** ~です。
- どうですか。
- わかりました。**
- 同じ考えです。**
- ・意見や質問はありませんか。



**せすじはピン**  
**足はピタッ**  
**手はうしろ**

・ 図を指しながらいっしょに

1. 2. 3. ...と数える

・ 分けて、いっしょにして

・ 式は〇〇にのって

(御幸小学校)

### 一発問・一動作…中学校

教師の指示が聞き取れず、学習活動につまづいてしまう生徒がいます。複数の動作の指示（「教科書の〇ページを開いて、何行目に線を引いて…、線は定規で引きましょう」）や早口の指示が苦手です。そこで、「一発問・一動作」の指示をするようにしました。

「発問は一回に一つ」「一つの指示で一つの動作を求める」「むやみに指示を繰り返さない」「はっきり、ゆっくり話す」「生徒の動きを確認しながら次の発問や指示を出す」といった工夫を行ったことで、生徒がスムーズに活動できるようになってきています。



(一ツ橋中学校)

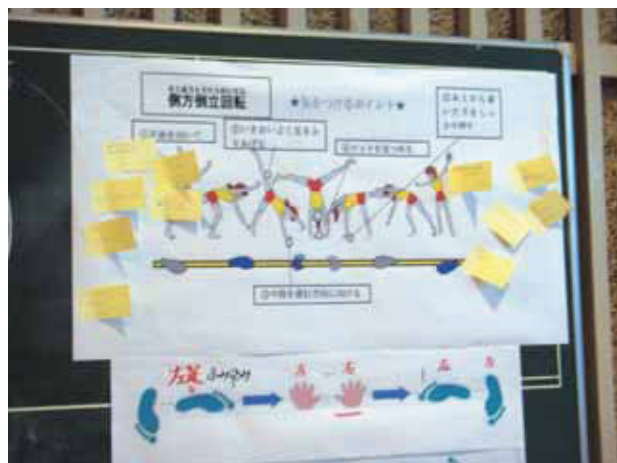
### 分かりやすい板書…中学校

黒板を等分し、授業の展開と対応させて板書し、授業がどのように展開し、めあての達成に至ったかが分かりやすいようにしています。

カード、図、実物などを掲示したり、授業の重要箇所に「今日のポイント」シートを貼付したり、色チョークで強調したりして構造的な板書になるようにしています。

右写真は体育科「器械運動」で使用した運動の動きの図です。下には手や足のつき方を示しています。周囲に生徒の個人目標を付箋紙で貼付し、授業の終わりに、個人目標の達成状況を振り返りました。

(一ツ橋中学校)





## ペア学習やグループ学習の活用…小学校

話したり聞いたりすることが苦手な児童がいます。伝える相手を意識しやすく、相手からの言葉が自分に向けられているという実感がもてることから、ペア学習やグループ学習を取り入れています。

「隣の友だちと同じようにできていた」「友だちの説明に納得できた」「友だちのつぶやきを聴いていたら自分もうまく言えた」という経験をさせる等、児童と児童をつなぐ支援をしています。

ペア学習やグループ学習は、受容的な学級集団づくりが土台となっています。

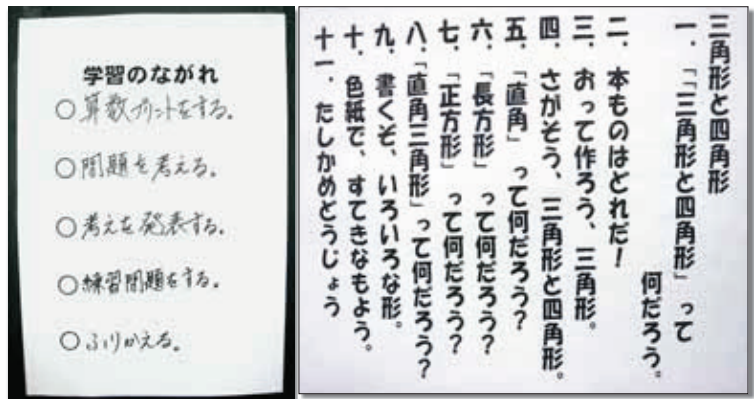
(十日市小学校)

## スケジュールの掲示…小学校

児童が意欲的に学習するように、単元の学習計画や本時の授業の流れを教室に掲示しています。

児童が「次は何をするの?」と質問することが減りました。これからどんな学習活動をするのかが理解でき、安心して学習に取り組んでいます。

(豊平西小学校)



## 黒板周辺の整理…中学校

生徒が板書に集中しやすいように、教室前面の掲示物の重ね貼りやまとめ貼りをやめました。また、色使いの工夫や掲示物の精選、キーワードのカードの提示等、授業のポイントを際立たせることによって、生徒の理解を促しています。



改善前…黒板や周囲に授業と関係のない掲示物



改善後…黒板には授業内容のみ  
周囲の掲示を精選

(吉舎中学校)

## 校内掲示の工夫…小学校

学校行事について、1か月間の見通しをもつことができるように、学校の玄関に「今月の予定」を掲示しています。漢字に振り仮名をふったり、絵を入れたりすることによって低学年の児童も理解できるように工夫しています。

また、小黒板を活用して、その日の行事や子どもたちへのメッセージ、朝会等のお知らせを伝えるようにしています。

(豊平西小学校)





後出しじゃんけん

「後出しで勝つ」というルールでじゃんけんをします。楽しい雰囲気の中でルールの理解、気持ちや体の動きをコントロールする練習ができます。

## 学級ソーシャルスキルトレーニング …小学校

楽しい雰囲気の中で記憶する力、ルールを理解する力、自分の気持ちを表現する力などのスキルを身に付けることを目的に行っています。活動の様子から、児童の得意なことや困っていることを見つけ、その後の支援に生かすことができます。

活動例…動きの模倣、後出しじゃんけん、自己紹介ゲームなど。  
(十日市小学校)

### 【授業改善9ヶ条】

- 授業の流れが見える板書
- カードやシートの活用
- 活動する（読む、書く、考える、動く）時間の確保
- 指示は一文で、後付け指示厳禁!!
- 指示の前の一瞬の“間”
- 個への指導は机間指導、複数いればグループティーチング
- “全員ができる”導入の工夫
- 目標の提示と、授業の振り返り
- ノート、プリント、教科書をつなぐ書き込み

### 授業改善の視点…中学校

全教科で使える授業改善の視点を定めたことで、分かりやすい授業づくりのために、教師がしなければならないことを校内で共有しやすくなりました。また、どの授業でも同じように取り組んだことで、目標の提示や振り返りなどの場面では、生徒が教師の指示を待たずに行動するなど、見通しをもって学習するようになりました。



(吉舎中学校)

## 高等学校の実践

自分で計画を立てて、実行することが難しい生徒がいます。レポート等の課題の提出までにしなければならぬことを細かく書き出し、段階的に並べた「チェックシート」を作成しました。「チェックシート」を見せながら指示したところ、計画通りに課題を提出することができました。口頭の指示だけでは分かりにくかった行動や段取りをチェックシートで確かめることができ、スムーズに行動することができたようです。

集団に対する一斉の指示や説明では分かりにくい生徒がいます。個別に説明をしたり、質問の内容を工夫したりしたところ、教師の意図の理解が早まり、受け答えが容易にできるようになりました。

## 家庭との連携

### 家での5つの約束 …小学校・中学校

中学校区内の小学校と中学校で共通の約束を決め、リーフレットにして各家庭に配付しました。

小学校から中学校までの一貫した指導を示すことで、家庭や地域からの協力を得やすくなりました。

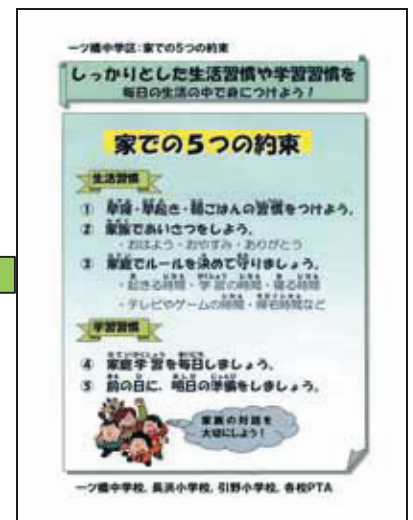
(一ツ橋中学校)

#### 生活習慣

- ①早寝・早起き・朝ごはんの習慣をつけよう。
- ②家庭であいさつをしよう。
- ③家庭でルールを決めて守りましょう。

#### 学習習慣

- ④家庭学習を毎日しましょう。
- ⑤前の日に、明日の準備をしましょう。



# 学校間の連携による一貫した支援

## 幼稚園・保育所と小学校の連携

幼稚園・保育所と小学校が入学前・後に連絡会をもちます。生活や学習で困っていること、興味・関心のあること、得意なこと、これまでに有効だった支援、保護者の願いなどについて話し合います。

保護者入学説明会では、教育相談の窓口を紹介し、相談したいことがある保護者には、特別支援教育コーディネーター等が応じます。児童や保護者の入学時の不安軽減につながっています。

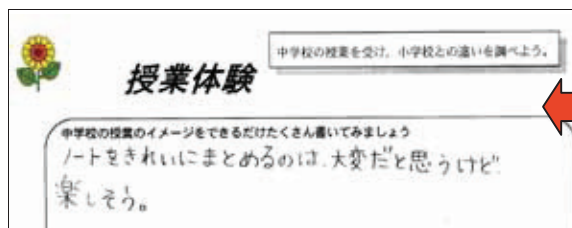
(十日市小学校)

## 小学校と中学校の連携 1

卒業前、6年生は中学校の授業と部活動を体験し、中学校入学への見通しをもちます。体験した授業等の感想、入学を前にして気になっていること、友人や勉強のこと等を記入する冊子を配付します。児童にとっては、自分の成長の記録になります。中学校にとっては個々の児童を理解する資料となります。

また、小学校と中学校の教職員が相互に授業を参観したり、行事や特別支援教育に関する合同研修会に参加したりしています。それぞれの実践について理解を深め、学習規律等についての共通の指導のルールを決め、小学校と中学校で一貫した支援を行うようにしています。

中学校の授業を体験した児童の感想



(十日市小学校)



## 小学校と中学校の連携 2

中学校区内の小学校と中学校による合同研修会をしています。授業観察後、意見交換を行い、効果的な指導の工夫を共有し、児童生徒への支援が継続するようにしています。また、校区校長会での連携、教頭、教務主任、生徒指導主事、保健主事、特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーター等の各連絡会や研修等を実施し、学校間の連携を密にしています。

(吉舎中学校)

## もっと詳しく指導方法等を知りたいとき

- 作文が苦手な子どもや、集団の中に入りにくい子どもの実態把握のポイント、つまずきの要因、指導の工夫を知りたい！
- 読むことが苦手な子どものための教材・教具を知りたい！
- 発達障害のある子どもへの指導や保護者との関係づくり等について専門家の講義を動画で視聴したい！

国立特別支援教育総合研究所発達障害教育情報センター  
<http://icedd.nise.go.jp/>

